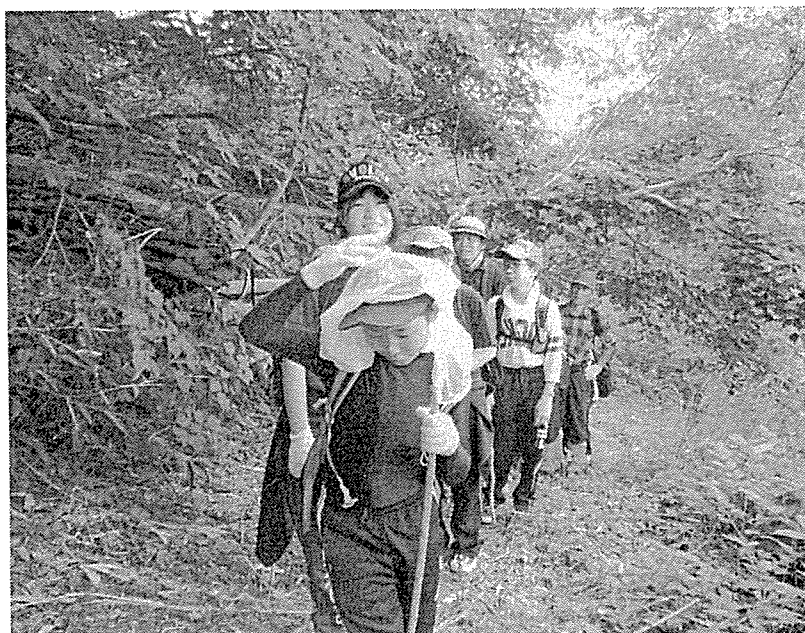


2014年(平成26年)7月20日(日曜日)



## 歴史ある山道歩く

増毛中  
1年生 10キロのルートを踏破

【増毛】増毛中学校(長尾真校長)の1年生32人と教職員9人が17日、増毛山道の復元ルートを歩き、自然や歴史を肌で感じた。

古い歴史がある増毛山道を歩いて知ってもらおうとN

PO法人増毛山道の会(伊達東会長)が体験学習を提案し、2年前から行われている。同校では17、18の両日で行われた宿泊研修のプログラ

増毛山道を歩く増毛中の生徒ら

ムに体験学習を取り入れ、生徒が6班に分かれて動植物や遺跡、昔の人の生活などをテーマに設けた。生徒、教職員のほか、山道の会から五日市忠二副会長を含む会員11人が参加した。

バスに乗って別荘にある山道入り口から6キロ上った循環林道南交点と呼ばれる地点に到着した生徒らは、午前8時から青空の下歩き始めた。山道周辺にはノイチョウ、三角点や一等水準点、古い電信柱や電線など自然や歴史の跡が見

られた。テーマに沿った材料を発見するたびに、生徒からは「あった!」と元気な声が上がリ、カメラに収める姿が見られた。

約4・5キロを歩いて同11時半ごろに武好(ぶよし)橋旧駅通(えきてい)跡にたどり着いた。昼食を取ったあと歩き始め、石積み橋の遺構などに目を留めながら午後2時40分ごろに岩尾の山道入り口に到着し、約10キロの道のりを踏破。生徒たちは充実した表情を見せていた。(寺本大輔)